

1) 「相互運用標準モデルVer.5.00」 の構成について

相互運用標準モデルVer.5.00の章立て	項立て	学習eポータル標準モデルVer.4.00
I. 相互運用標準モデルについて		
1. 目的		1. はじめに 1.1 概要 1.2 本モデルの位置づけ 1.3 仕様の要求水準について
2. 仕様の要求水準について		2. 用語
3. 用語		3. 学習eポータルとは 3.1 コンセプト 3.3 基本的考え方 3.4 学習eポータルの利用者 3.5 ユースケース
4. 概要	4.1 本モデルの位置づけ 4.2 学習eポータルのコンセプト 4.3 本モデルにおける基本的考え方 4.4 学習eポータルの利用者 4.5 学習eポータルのユースケース	4. 製品に関する要件・仕様
II. 技術仕様		4.1 学習eポータルの機能要件
1. 学習eポータル	1.1 学習eポータルの機能要件 1.2 アカウント管理/ユーザー認証における技術仕様 1.3 MEXCBT との連携における技術仕様 1.4 各種学習ツールとの連携における技術仕様 1.5 校務支援システムとの連携における技術仕様 1.6 LRSとの連携における技術仕様	4.2 学習ツールとの連携技術仕様
2. 学習ツール	2.1 学習ツールの機能要件 2.2 学習eポータルとの連携技術仕様 2.3 LRSとの連携技術仕様	4.3 校務支援システムとの連携技術仕様
3. 校務支援システム	3.1 校務支援システムの機能要件 3.2 学習eポータルとの連携における技術仕様	4.4 LRSの技術仕様
4. LRS	4.1 LRSの技術仕様	6. 将来像と課題 6.1 様々な学習ツールとの連携の強化 6.2 スタディログの利活用 6.3 生成AIの活用 6.4 有料ツールの利活用 6.5 倫理的、法的、社会的課題（ELSI）への対応 6.6 文字セットや文字コードの標準化による利便性の向上 6.7 学習eポータルの今後のあるべき姿の検討
5. 将来像と課題	5.1 学習eポータルと様々な学習ツールとの連携の強化 5.2 データに対するアクセス権の整理と技術仕様 5.3 校務支援システムと学習eポータル間の連携の強化 5.4 スタディログの利活用 5.5 生成AIの活用 5.6 有料ツールの利活用 5.7 文字セットや文字コードの標準化による利便性の向上 5.8 倫理的、法的、社会的課題（ELSI）への対応	5. 運用に関する指針
III. 運用に関する指針		5.1 基本的考え方 5.2 学習eポータル・学習ツールの選択自由度の確保 5.3 教育データの適切な取り扱い 5.4 いつでも・どこでも安心・安全に学べる環境
1. 運用に関する指針	1.1 接続に対する基本的な考え方 1.2 学習eポータルを変更する場合の考え方 1.3 費用に関する考え方	5.1~5.4に包含
2. 将来像と課題	2.1 全体について（2.1.1 運用指針の実効性と適合性評価） 2.2 学習eポータルを変更する場合の考え方関係 2.3 費用に関する考え方関係	